

※日本ナショナルトラスト旧松井家、結による屋根葺は、10月29日(土)に開催予定！！

守る会ホームページ！！ <http://shirakawa-go.com/~ogimachi>



白川郷荻町集落の自然環境を守る会 発行 平成28年 5月号

『つなぐ』について考えよう！！

守る会では、活動スローガン「守る・くらす・つなぐ」の3本柱を掲げ、取り組みを進めています。今回はその「つなぐ」に視点をあてて考えてみたいと思います。

居住地であり世界遺産である荻町合掌集落は、住民の守ることへの強い意識と安心安全な暮らしが連動して成り立っています。同時に私たちは、これらの遺産や伝統文化・生活を今だけでなく、未来へと継承していく使命と責任を担っています。それが「つなぐ」のもつ大きな意義となります。

スローガン「つなぐ」は、「故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成」すると謳っています。まずは、先人先輩方の営みや今を生きる住民によって受け継がれてきた故郷について学ぶことから始まります。それが故郷への感謝や愛情につながります。加えて、国内外にある世界遺産や伝建地区、町並み保全に努力している様々な地域に目を広げることが必要となります。他地域を知ることは真の故郷のよさや目指す方向に気付くことにつながり、それが故郷のレベルアップにつながります。そして、継承者を育成する責任を自覚することで、次代への継承がなされるのです。

継承者の育成は荻町だけでなく、単独村白川村が抱える大きな課題でもあります。村では、継承者となる村の担い手を育てるため、教育に力を入れています。小学校統合を契機に、平成23年度より保小中一貫教育を進め、平成26年度には学校と地域が一体となり子どもたちを育むコミュニティスクール（学校運営協議会の設立）がスタートしています。子どもたちの自立と村を支える担い手の育成には、学校教育だけでなく家庭や地域の教育力が絶対不可欠であり、地域と連動した取り組みが動き出しています。

昨年12月の白川郷学園地域公開日には、生徒会主催による「第2回子ども未来会議」が開催されました。テーマは「世界遺産を支えていく村であるために、私たちが大切にしていきたい『結の精神』とは」です。子どもたちからは今まで行ってきた運動会での民謡やゴミ拾い活動等についての取り組みについて発表。大人からは地域で行っている行事や自分の仕事を通しての「つなぐ」取り組みについて発表。最後に子どもと大人が一緒になってグループ討議を行いました。学校運営協議会のパンフレットに、その時のコメントが記載されていますので、その一部を以下に紹介いたします。



【地域の方々が子どもたちへメッセージを発信】

- 村は世界遺産があるから合掌を守っているのではなく、もともと合掌があったところに世界遺産として認められたのだから、合掌を守ることは世界遺産だからではない。僕たちはそんな合掌造についてまだまだ知らないことがたくさんあり、知らなければいけないことがたくさんある。だから村の人から教えてもらわなければいけない。(小6男子)
- 昔は結で屋根葺きをしていたから、教えるというよりは自然に伝わっていたのかもしれない。でもこれからは、教えなければ伝わらないことの方が多い。(地域の年配者)
- 民謡や獅子舞など伝統芸能を受け継いでいくことは大切で、今学校や地域で行っている地区の

民謡の取り組みは続けて行きたい。(中3女子)

○伝統行事や合掌造り、地域行事など残していくためには、つないでいかなければいけない。でもそれは一人ではなくみんなで一緒に残していくことが大事である。大切だから、伝統だからと必至に残すことよりも、みんなで楽しみながら残していく、受け継いでいくことが大事で、そこに関わることの楽しさをたくさん味わって欲しい。(保護者)

○茅葺き職人の方の話が心に残ってます。結で茅葺きに関わったときに屋根の上でワイワイとみんなで話しながら作業をしたあの場が楽しかったからだと言っていました。僕も獅子舞の花取りをやらせてもらっていて伝統芸能に関わっていますが、何より獅子若の大人とのやり取りや会話が楽しくて仕方ありません。伝統芸能なので残して行くことへの大切さは分かりますが、そこでの人との関わりがあるからこそ楽しくつながっていけることを感じています。僕は今年で獅子舞(花取り)を卒業しましたが、今すぐにも戻って獅子若に入りたいと思うほど絶対に大人になったら獅子若になりたいです。だから、つなげるということは人と人の楽しい関わりが大切だと思います。(中3男子) [平成27年12月5日開催、地域公開日・子ども未来会議より]

これらのコメントから、故郷を知ることや伝統芸能を継承することの大切さとともに、人と関わり合うことを楽しむ思いが伝わってきます。つなぐこと守ることを重荷に感じるのではなく、関わることを楽しむ。そうやって継承してきたものが地域への誇りにつながるのだと。また、子どもたちにつなぐには、今を生きる大人の姿が重要。願いや思いを持って懸命に働く姿、地域のために熱く楽しく行事に関わる姿、文化伝承に責任と誇りをもって取り組む姿、郷土を愛しみみんなで関わることを大事にする温かい姿など、大人の背中で伝えることの大切さを感じました。

重伝建40周年の節目の年。世界遺産白川郷を次代につないでいくために、今を生きる住民の背中で何を伝えていくのか。先人先輩方の思い、今を生きる住民の思い、次代を担う若者や子どもたちの思い、女性の視点からの思い、外から荻町をみる方々の思い等々……。40周年は様々な視点から、これからの荻町を考える機会にしたいと考えています。 [文責:和田]

守る会活動スローガン ～ 守る・くらす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

＝ 4月の活動報告 ＝

- 4月5日 役員会
- 4月7日 4月定例会
- 4月9日 ライトアップ実行委員会ゴミ拾い
- 4月10日 消防団火の元検査
- 4月11日 ねそ4月号発行
- 4月18日 旧松井家の屋根葺きに関わる会議
- 4月29日 村民一斉美化運動

※6月の定例会は9日(木)を予定しています。

◎区民の皆様へ……建物や土地などの現状を変更する場合は、許可が必要です。必ず現状変更申請を行ってください。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は教育委員会に提出を。これは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆様のご理解ご協力をお願い致します。

☆ 5月の協議事項(現状変更申請に関わって) ☆

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| *****雨どい取り替え | *****故木戸口進宅の解体 |
| 旧田島家養蚕資料館……看板設置 | *****仮設を本設に |
| 白川村……大沼林道舗装工事 | 白川村……村道荻町シユ谷線舗装補修 |
| 白川村……バスターミナル整備に係る雑木伐採 | |

※守る会定例会は、毎月10日を原則としていますが、本年度は10日に区長文書発送や土日祝日が重なるため、別日での開催が多くなります。現状変更申請の提出等お間違えのないようお願いいたします。葬儀や突発的な行事で変更を余儀なくされる場合もありますが、以下に6月以降の開催予定日を記載いたします。

6月9日(木)、7月8日(金)、8月9日(火)、9月8日(木)、10月7日(金)、11月10日(木)、12月9日(金)、1月20日(金)、2月9日(木)、3月9日(木)。